

ジュッペちゃんの涙 (No.53)

平成 23 年 (2011 年) 9 月 14 日

大中里保育園 園長 塩川寿平

乳幼児の文化としての運動会創造！6年目、保護者の一層の理解深まる！

運動会は日本の発明品です。日本のオリジナルの文化です。大切にしたいと考えました。しかし保育園の運動会(9月10日)はどうあるべきか。大中里保育園のオリジナルの文化として育てようと！6年目を迎えました。①日頃の成長の姿を「表現しよう」「見てもらおう」 ②この年齢で「勝負」にこだわらせるのはやめよう ③自分自身の成長を評価しよう「昨日の私より」「今日の私の努力」「明日への私の成長」と ④園児の自分との戦いを評価しよう。人生は自分との戦いだから ⑤音楽を使って園児をセカセルのはやめよう ⑤子どもの幸福はお父さんお母さんの健康にかかっている。私たちの運動会は保護者の方も含めて参加者全員の『健康増進フェスティバル(お祭り)』です。長寿社会の今、100歳になっても元気に生活できる脳と肉体を育てて、維持するお祭りです。

皆さんから頂いた声『勝負にこだわらない』を実感しました。子ども親も安心して笑顔の絶えない1日でした。感激しました』『音楽を使わない運動会は、園児の声やみんなの歓声がよく聞こえて、しかもアセルことの無いステキな運動会でした』『自分との戦いの工夫がいろいろされていて、一人一人の先生のご指導と環境づくりに頭が下がりました』

なお、①岳南朝日新聞と②岳陽新聞の第三者評価ともなる富士宮市民への報道をご覧ください。このホームページでは略して一部分を載せます。

①9月11日：岳南朝日新聞『17種目の演技で絆を深め合い—大中里保育園で運動会—』

②9月13日：岳陽新聞『家族参加型の特色ある運動会—市内のトップを切って開催—』・・・大中里保育園は公立から民営化して6年目であり、市民の関心も高いことから須藤市長も視察をかねて運動会に参加した。プログラムの半分以上に家族が参加する内容となっており、園児と家族が一緒になって汗を流し、子どもの成長を実感しているようだった。特に「空飛ぶじゅうたん」は保護者同士が協力して園児を担架で運ぶ防災訓練の織り込まれたプログラムで、家族間や保護者同士の絆を深めながら子どもとふれ合い、笑顔の輪を会場いっぱい広げていた・・・。

*次ページ、大中里保育園の運動会についての理論編「保護者に配布したお便り」



【運動会の取り組みについて】

運動会テーマ = 大中里保育園の子どもが元気になる運動会 =

早いもので今年も運動会の時期になりました。

まだハイハイすらできなかったひかり組（0歳児）のお友達も今では自分の足であちこち散索できるように成長し、子どもたちの著しい発達に目を見張る思いです。

それぞれの年齢で経験すべき事に挑戦し続ける子どもたち。色々な行事を通して集団の中で生活している子どもたちの様子を見ていただけるようにと各行事を大事に考えています。運動会は体育的な面からの発達や協調性を中心に、『脳と肉体=心身』共に元気に育っていることを見ていただけるものと思います。

自分のやりたい事を見つけ、友達に助けられ、泣いたり笑ったりする中で、日々成長を見せてくれる子どもたちを皆で応援して、大人も一緒に楽しんでいただけたら嬉しいです。今年も私たちが望む運動会のテーマは『大中里保育園の子どもが元気になる運動会』です。

★特色1 自分との戦い！・・・自分で自分を鍛える運動会です。

昔の運動会はナンバーワン（一番になること）でした。相手に勝つ・皆に勝つ・他人に勝つでした・・・が、私たちは「昨日の僕」より「今日の僕」、「今日の僕」より「明日の僕」との戦い・・・そうです。自分への挑戦です。オンリーワン（かけがえのない私）です。

★特色2

「昨日より今日 今日より明日に向かって 自分にガンバレー！」「自分に負けるなガンバレー！」なのです。

以前は他人と比べて他人に負けるなというナンバーワンの意味のガンバレーでした。「ガンバレー！」「ガンバレー！」の応援の言葉は同じですが意味が違います。私たちは自分自身に向かって「頑張るゾー！」というオンリーワンの精神の頑張れなのです。

★特色3

なぜ戦わないのか。

戦いというものは相手と能力が平等でなければなりません。

大中里保育園は小さい集団なので対等の能力の子をそろえて戦わせることができないのです。それに未満児さんが約30名もいます。1番も2番も意味が分かりません。そのような発達過程において1番2番・・・と、大人が決めても意味がありません。



★特色 4

私たちの運動会は長寿のできる健康づくりフェスティバル（お祭り）です。

日本は長寿社会となりました。80歳から100歳までも生きられるようになりました。そこで80年から100年も生き生きと元気に使える『脳と肉体＝心身』を、今から一人一人つくるのです。親も子もこの運動会を機会に体を動かして健康増進に努めましょう。

★特色 5

子どもの幸せはすべて父・母・お家の方々の健康にかかっています。

子も親も共に育つフェスティバルです

保護者の方が病気になってしまったら大変です。だから、園児の競技ばかりではなく大人の出番を多くしてあります。保護者の方の健康づくりのフェスティバルでもあります。

★特色 6

楽しんでやることが目標です。勝敗にこだわらないからできることです。

正確に・ていねいに・ルールを守って・・・楽しんでやることが目標です。勝敗にこだわらないからできることです。マイペースでいいのです。種目の一つ一つを正確にそして楽しんで一日をすごしましょう。

あせったり・あせらせたり・ゴマかしたりする運動会との決別です。

★特色 7

大中里保育園の運動会は音楽（＝運動会で常用されるバックミュージック）を使わないようにしています。

みんなの笑い声や応援の声を確かに子どもたちに届けるために！

音楽にせかされることなく ゆったり 丁寧に 自分に挑戦できるように！

私たちは今年も音楽を使わない運動会を心がけます！

熟慮に熟慮を重ねた末の“子どもを大事にする運動会”を目指す私たちの思いです。

